令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	356 ころとからだの健康教室						
予算科目	08-030201-11	ころとからだの健康教室事業に要す				担当部課	福祉部地域包括支援課
市長公約						係名	介護予防係
戦略プラン						新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（義務）
						事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市高齢者福祉計画					事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法					SDGs	03すべての人に健康と福祉を
							04質の高い教育をみんなに
							11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	フレイル予防を目的とした教室を開催し、市民の健康の維持・増進を図る。
概要 (取組内容)	一般介護予防事業として、65歳以上の市民を対象とし、要介護になることを遅らせる「フレイルサポート教室」を開催する。委託地域包括支援センターの職員と協働し、より地域に根差した教室を各圏域で開催する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	412	495	391	434	434	
	決算額	(千円)	356	438	253	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	94	117	136	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	122	148	85	0	0
		その他	(千円)	140	173	32	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,724	2,957	2,916	2,763	2,763	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	80.00	10.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページへ掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	教室参加者アンケート

指標の推移

1	指標名	ころとからだの健康教室の参加人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	350.0	350.0	350.0	400.0	400.0	50.0
	実績	225.0	18.0	23.0	44.0	22.0	120.0
指標の概要	令和6年度からは目標値を実人数とする。						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	より多くの高齢者へ介護予防の知識を周知するため、全圏域で教室開催を行った。また、高齢者の相談窓口の周知を目指し、委託地域包括支援センター職員と協働して運営を行った。				
成果	昨年度から対象者を広げ、幅広い方へフレイル予防について啓発することができた。また、委託地域包括支援センターと協働することで、教室参加者を個別相談へつなげる等、相談窓口として周知することができた。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>圏域によって参加人数に差があるため、継続的に事業の周知をしていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	圏域によって参加人数に差があるため、継続的に事業の周知をしていく必要がある。	組織、予算等	
業務	圏域によって参加人数に差があるため、継続的に事業の周知をしていく必要がある。				
組織、予算等					
改善目標	今後も各委託地域包括支援センターと協働し、全圏域で教室を実施する。				

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	358 地域包括支援センターの運営指導					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援の体制整備を行う。
概要 (取組内容)	地域包括支援センターを各圏域に設置し、適切に運営できるよう指導する。具体的には、地域包括支援センター定例会を実施し、活動状況や困難事例の共有・検討を行うことで、各地域包括支援センター間の連絡調整やネットワーク強化を行う。各地域包括支援センターの事業計画・実績報告作成の際に内容を確認し、助言を行う。毎月提出される相談票や実績報告を把握し、適切な相談支援に向けた指導を行う。その他必要に応じた指導を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	144,000	180,000	174,000	183,000	236,900	
	決算額	(千円)	138,703	144,166	137,570	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	26,700	27,751	26,482	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	80,101	83,256	79,446	0	0
		その他	(千円)	31,902	33,159	31,642	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,528	4,981	5,314	5,085	5,085	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.70	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	60.00	103.00	103.00	103.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ及び広報つくばへの記事掲載、他地域包括支援センターのチラシを区会回覧
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	審議会等（地域包括支援センター運営協議会）

指標の推移

1	指標名	地域包括支援センター相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	9,417.0	11,694.0	10,314.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	実情に即していないため、令和4年度から本指標を廃止する。					

2	指標名	相談件数（延べ）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	14,205.0	20,214.0	23,712.0	16,693.0	16,771.0	16,980.0
	指標の概要						
3	指標名	対応件数（延べ）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	21,062.0	26,045.0	35,330.0	34,401.0	31,612.0	34,028.0
	指標の概要						
4	指標名	地域包括支援センターの認知度（一般高齢者）（%）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	51.8	51.8	51.8
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> 定例会において、困難事例への助言及び好事例共有等を実施した。また、他機関との意見交換会を年2回実施した。 令和8年度の委託に向けた設置体制を協議した。
成果	<ul style="list-style-type: none"> 定例会での事例共有により、センター間の情報共有を行うことができた。また、他機関との意見交換会では、参加者へのアンケート結果を取り入れて実施し、顔の見える関係を築くことができた。 令和8年度の委託に向けて、運営協議会にて設置するセンター数及び職員数等を協議し承認を得た。
課題	<p>業務</p> <p>多様化する相談に対応できる体制を継続するため、センター職員の対応力向上が必要である。また、関係部署等との連携強化のため、意見交換会等による顔の見える関係を広く築いていく必要がある。</p> <p>組織、予算等</p> <p>センターの運営体制が維持できるよう、圏域の実情に応じたセンター数及び職員数の配置や、配置する職員の柔軟化等に対応する必要がある。</p>
改善目標	<p>センター職員の対応力向上のため、引き続き意見交換の場を設ける。また、センタとのヒアリング等の機会を設けて、風通しの良い体制を整備する。</p> <p>令和8年度委託のためプロポーザルによる事業者選定を実施する。</p>

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	360 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	地域の様々な社会資源を活用し、高齢者の在宅での生活継続ができるよう支援する。
概要 (取組内容)	介護支援専門員へ相談支援、サービス担当者会議支援 保健福祉関係者への市内の保健福祉サービスや民間関連サービス情報提供 ケアマネジャー連絡会や研修会開催支援 圏域別ケア会議や在宅医療介護連携事業への出席

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	61	96	72	72	72	
	決算額	(千円)	52	36	72	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	12	8	16	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	30	21	42	0	0
		その他	(千円)	10	7	14	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,729	3,576	4,523	4,144	4,144	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.50	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	150.00	50.00	75.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	審議会等（地域包括支援センター運営協議会）

指標の推移

1	指標名	介護支援専門員への相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	868.0	1,495.0	2,816.0	2,629.0	2,164.0	1,735.0
	指標の概要	直営と委託包括支援センター（7か所）の相談件数の合計 ※令和5年度からは委託包括分のみ					

2	指標名	法定外研修研修開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0
	指標の概要	つくば市主催またはつくばケアマネジャー連絡会と共催で行った法定外研修の件数					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	多様な生活課題を抱える高齢者等が地域でその人らしい生活が継続できるよう、介護支援専門員の専門性向上及び主任介護支援専門員のニーズを把握し、適宜研修会を開催した。	
成果	市の包括的継続的ケアマネジメント支援として、他の事業とも連携して介護支援専門員の課題解決となるよう専門的な研修会を3回実施した。また、圏域別ケア会議において、介護支援専門員は、地域包括支援センターと協同し事例検討の課題解決に当たっている。介護支援専門員が地域ケア会議に出席することで、課題解決力の向上だけでなく、圏域でのネットワーク構築につながっている。	
課題	業務	地域のネットワーク構築において、利用者に必要なインフォーマルサポートも踏まえたネットワーク構築を図り、新たな社会資源情報の共有が必要である。
	組織、予算等	
改善目標	介護支援専門員が様々な相談に対応できるよう、介護保険に関係する他制度の理解も必要。また、圏域別ケア会議、事例検討においては、課題解決に必要な視野を広げられるようスキルアップのため、介護支援専門員・主任介護支援専門員の実践力向上に向けた研修等を行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	361 権利擁護事業					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	権利侵害を受けている高齢者や、自ら権利を主張することや行使することが難しい高齢者の生活を支援する。
概要 (取組内容)	成年後見制度、日常生活自立支援事業等の活用促進を図る。 老人福祉施設等への権利擁護に関する研修の実施 高齢者虐待対応と養護者支援

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	192	192	138	144	144	
	決算額	(千円)	48	96	104	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	8	18	24	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	29	56	60	0	0
		その他	(千円)	11	22	20	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,650	4,932	5,314	4,908	4,908	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.70	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	40.00	103.00	30.00	30.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市のホームページに掲載
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	審議会等（地域包括支援センター運営協議会）

指標の推移

1	指標名	権利擁護相談件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	159.0	139.0	137.0	109.0	119.0	84.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	様々な困難事例にも適切に対応できるよう、ケース会議等をとおして委託地域包括支援センターと支援目標を共有するとともに必要に応じて同行訪問を行い協働して対応を行った。	
成果	市と委託地域包括支援センターが支援目標を共有し協働して対応することで様々な事例にも適切に対応でき、高齢者の権利擁護の推進につながった。	
課題	業務	対応が困難な事例も適切に支援できるよう、高齢者虐待対応マニュアルの改訂も含め、市と委託地域包括支援センターが連携協働して対応する体制を強化していく必要がある。
	組織、予算等	職員の異動があった際も統一した対応ができるよう、市及び委託地域包括支援センター職員の研修の機会を確保していく必要がある。
改善目標	高齢者虐待対応マニュアルの改訂等をとおして、対応の流れや市と委託地域包括支援センターの役割等をより一層明確にし、適切かつ迅速に対応ができるようにする。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	362 実態把握訪問						
予算科目	08-030201-11	こころとからだの健康教室事業に要す				担当部課	福祉部地域包括支援課
市長公約						係名	介護予防係
戦略プラン						新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（義務）
						事業体制	一部委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画					事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法					SDGs	03すべての人に健康と福祉を
							04質の高い教育をみんなに
							11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	要介護状態になるおそれのある市民の健康の維持・増進を図る。
概要 (取組内容)	KDBシステム等から対象者を抽出し、閉じこもりや生活能力低下、認知機能低下、社会性の低下、医療等で関わり支援が必要な対象者へ訪問等を実施し介護予防につなげる。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	4,667	5,749	8,935	9,328	9,328	
	決算額	(千円)	4,112	1,857	8,568	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	947	428	4,635	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2,374	1,072	2,862	0	0
		その他	(千円)	791	357	1,071	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,724	2,763	2,904	2,763	2,763	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	5.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	要支援者の実態把握訪問を実施する (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	300.0	300.0	300.0	350.0	350.0	400.0
	実績	249.0	595.0	328.0	387.0	469.0	363.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	委託地域包括支援センターと連携を強化し、訪問の質の均一化を図るために、手順書や記録表の書き方のマニュアルを作成し共有を行った。委託地域包括支援センターからの訪問時の困りごとに対して、相談対応を行った。	
成果	訪問等を通してつくば市全域の受診勧奨、保健指導の実施、介護相談、生活上の困りごとの支援を対象者の必要性に応じて行えた。 介護予防の普及啓発及び対象者の健康に対する行動変容のきっかけに繋がる支援が出来た。 独居高齢者については、緊急時の対応等の情報提供を行い、ひとり死の予防に貢献することができた。	
課題	業務	本事業での訪問対象者を他課の事業の実施状況も踏まえて、どのような方にしていくのがより良いか検討していく必要がある。委託包括支援センターと訪問の質の均一化を図るようにしていく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	他課の事業の実施状況の確認と訪問結果の分析を行い、より良い訪問対象者の選定について検討を行う。直営地域包括支援センターと委託地域包括支援センターでの訪問の質の均一化を図るために、委託地域包括支援センターとの情報の共有化を行い連携を強化していく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	364 成年後見制度利用支援					
予算科目	08-030302-14 成年後見制度利用支援事業に要する経			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市成年後見制度利用促進基本計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
	成年後見制度利用促進法				11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	判断能力が不十分な認知症高齢者等に対し、成年後見制度を利用するための支援を行うことにより、権利擁護を推進し、自立した日常生活を営むことができる環境の整備に資すること。
概要 (取組内容)	親族がいる場合は、親族による成年後見開始等審判の申立てを支援する。 成年後見制度の利用が必要だが、親族がいない場合や親族による申立てが見込まれない場合は、市長申立ての手続きを行う。 また、成年後見制度を利用する被後見人等で、資力が少ない者等に対して報酬等を助成する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	2,279	2,281	2,281	2,256	2,256	
	決算額	(千円)	198	278	799	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	36	53	183	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	116	161	462	0	0
		その他	(千円)	46	64	154	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,442	4,169	4,555	4,169	4,169	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	15.00	10.00	88.00	10.00	10.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市のホームページへの掲載、市民講座の開催
企画・立案、計画	つくば市成年後見制度利用促進基本計画
実行	市民後見人養成講座、出前講座の実施
評価、検証	つくば市成年後見制度推進事業運営委員会

指標の推移

1	指標名	成年後見制度相談件数（市）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	65.0	70.0	38.0	25.0	25.0	19.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	成年後見制度を必要とする方が適切に制度を利用できるよう、つくば成年後見センター等と緊密に連携し、成年後見制度市長申立や親族申立等の支援を実施した。	
成果	成年後見制度市長申立：4件 利用支援事業助成金支給：3件	
課題	業務	相談対応件数の増加に伴い、対象者の支援に関わる職員（委託センター含む）の相談対応力の向上が必要である。また、対判断能力の低下がみられる対象者の意思決定支援を重視した対応も必要不可欠である。
	組織、予算等	高齢者人口の増加に伴い、相談対応件数が増加している。関係機関等への制度の周知啓発や研修会開催など、オンラインの活用も含め効果的な周知啓発が必要である。
改善目標	市・委託先等において対応力、業務効率の向上に向けた取組を行う。	

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	365 介護予防支援事業					
予算科目	08-050101-11 指定介護予防支援事業に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	介護サービスを利用することで、できる限り居宅で自立した生活を継続できるようにする。
概要 (取組内容)	介護サービス利用のための介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント支援を指定居宅支援事業所に委託する。 適切なケアプラン作成、サービス提供に向け介護支援専門員からの相談等に対する支援を行う。 国民健康保険団体連合会への請求業務、居宅介護支援事業所への委託料支払業務を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	237	313	248	250	250	
	決算額	(千円)	97	10	0	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	97	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	10	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,362	1,552	1,470	1,382	1,382	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	70.00	10.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	介護予防支援委託件数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	521.0	160.0	1.0	2.0	1.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	令和6年度の法改正、介護報酬改定に対応するため、地域包括支援センター職員と指定居宅介護支援事業所が合同で業務手順を見直し、円滑な契約事務、ケアプラン作成ができるよう支援した。
成果	運営規程に定める業務継続計画及び指針の策定、委員会等に関し、委託地域包括支援センターと共に実施することができた。 また、令和6年度介護報酬改定後に介護予防支援が滞りなく実施できるよう、契約方法の見直し等を検討することができた。
課題	業務 指定を受けた介護支援事業所（居宅介護支援事業所）が介護予防支援を実施できるよう支援をしていく。 組織、予算等
改善目標	介護予防支援事業の遂行にあたり、居宅における負担等により、委託を受けにくくなりつつあるため、定型的業務の簡素化等、負担を考慮した業務の見直しを行っていく。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	368 認知症総合支援事業					
予算科目	08-030301-13 認知症総合支援に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	認知症総合支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	認知症の早期診断・早期対応のため相談支援を行い、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域の構築を推進する。
概要 (取組内容)	保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者により、認知症の早期における症状悪化防止のための支援の他、認知症の方、その疑いのある方に対する総合的な支援を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	12,316	13,129	8,966	14,671	14,671	
	決算額	(千円)	8,716	9,110	8,377	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,007	2,095	1,926	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	5,032	5,261	4,838	0	0
		その他	(千円)	1,677	1,754	1,613	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,970	11,415	12,058	11,536	11,536	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.60	1.60	1.60	1.60	1.60
		正職員時間外勤務	(時間)	30.00	150.00	200.00	200.00	200.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	無	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば、市ホームページ、認知症支援メール、つくスマへの掲載
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	地域包括支援センター運営協議会、認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催

指標の推移

1	指標名	認知症カフェ開催数（延べ）					（ 会議 ）	活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
	目標値	36.0	36.0	40.0	40.0	84.0	90.0	
	実績	43.0	27.0	22.0	69.0	82.0	95.0	
	指標の概要							

2	指標名	認知症カフェ参加数（延べ）（人）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	1,260.0	1,350.0
	実績	830.0	217.0	320.0	573.0	774.0	1,037.0
	指標の概要						
3	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市民が参加しやすいカフェ等の集いの場の拡充に向け、現在委託している8か所のカフェで参加者アンケートを実施し、市民が集いの場にどのような要素を期待しているか調査を行った。
成果	アンケートの結果、現在委託している認知症カフェに対する参加者の満足度はかなり高いことが分かった。定期的に人と交流する機会があることで、認知症予防や健康維持のために役立っているとの意見があり、認知症カフェをはじめとする集いの場が市民から求められている現状が把握できた。
課題	市民がより気軽に参加できるようカフェの運営形態や開催場所を見直す必要がある。
改善目標	参加者から開催数が少ない、交通手段がないとの意見があがったため、認知症カフェの開催場所について調査を行うとともに、交通手段等の確認を行い、誰もが参加できる環境の整備を推進する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	370 短期集中予防サービス「訪問型サービスC」					
予算科目	08-030101-14 短期集中予防サービスに要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	生活機能の低下や低栄養・口腔機能の低下が認められる要支援1、2または事業対象者に対して、短期集中での支援を行う。
概要 (取組内容)	介護保険法の「介護予防・日常生活支援総合事業」により、市町村が中心となり地域の実情に応じた多様なサービスを充実させることで要支援者等に対する効果的で効率的な支援等を目指す。 短期集中予防サービス「訪問型サービスC」は、①運動機能向上プログラム、②低栄養改善・口腔機能向上プログラムの2つからなり、専門職が短期集中での訪問指導を行うことで、高齢者が心身機能を改善するとともに、活動や参加を促進し、自立した生活を送ることができるよう、個々の状態に応じた適切な支援を行うサービスである。

コストの推移

項目		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円) 960	1,824	1,824	1,824	1,824	
	決算額	(千円) 1,320	1,134	674	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 353	303	365	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 446	383	225	0	0
		その他	(千円) 521	448	84	0	0
人件費	人件費計	(千円) 1,362	1,382	1,460	1,382	1,382	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間) 0.00	0.00	6.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページに掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	利用者アンケート

指標の推移

1	指標名	訪問型サービスC利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	6.0	11.0	9.0	17.0	16.0	10.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地域ケア会議などで事業周知を行った。また、対象者である要支援1、2認定者に、認定結果通知書とともに事業のチラシを同封するなど事業周知を行った。				
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・終了時のサービス担当者会議によると、すべての利用者は、事業終了後、生活機能の向上や身体機能の改善がみられ、満足度も高かった。 ・利用申請はあるが、利用者の状況により利用につながらずキャンセルとなるケースが3件あった（入院や介護サービス利用により）。身体状況が変化し、区分変更したことによる中断者も2件あった。 				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>事業の周知に継続的に取り組む必要がある。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	事業の周知に継続的に取り組む必要がある。	組織、予算等	
業務	事業の周知に継続的に取り組む必要がある。				
組織、予算等					
改善目標	ケアマネジャー連絡会や研修会、イベントでチラシを配布するなど、継続的に事業を周知する。				

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	371 認知症高齢者等保護支援事業					
予算科目	08-030302-16 認知症高齢者等保護支援事業に要する			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	認知症総合支援係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	介護を行う家族の負担の軽減を図る。
概要 (取組内容)	認知症等により行方不明になる恐れのある高齢者に位置情報端末機を貸し出し、万が一、行方がわからなくなった場合に、位置情報等を特定し知らせることで、家族が保護できるように支援する。 家族等から申請を受け、市で対象条件を確認して決定後、機器を貸与する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	527	338	1,291	1,038	1,038	
	決算額	(千円)	93	44	87	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	24	10	20	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	52	25	50	0	0
		その他	(千円)	17	9	17	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,362	1,382	1,480	1,416	1,416	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	14.00	14.00	14.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば、市ホームページでの周知
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

指標名	支援サービス利用者数 (人)					活動結果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	14.0	15.0
	実績	8.0	9.0	12.0	14.0	13.0	11.0
指標の概要	端末機を貸与している人数						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	位置情報端末機の貸し出し需要が低下し、多様な見守り機器が普及したことを受け、認知症高齢者等保護支援事業の廃止を決定した。	
成果	需要が低下していた位置情報端末機の貸与の終了を決定した一方で、つくば市おでかけ見守りシールの配布を開始し、専用の伝言板システムを用いたより迅速な見守り体制の構築を推進するとともに、令和7年度から認知症高齢者等を対象とした個人賠償保険の開始を決定したことで、より効果的な家族支援体制整備が進んだ。	
課題	業務	地域での見守り体制の強化を目指し、事業の周知を行っていく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	窓口や関係機関でのチラシ配布を通じて、認知症の初期段階から保護支援に関する情報が得られる環境づくりを進めていくとともに、つくば市おでかけ見守りシールを用いた保護支援について、イベント等で周知を行っていくことで、認知症に対する知識や地域での見守りに対する重要性を周知していく。	

評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	今年度で事業が終了する。
優先度	-	今年度で事業が終了する。

方向性

方向性	廃止
理由	位置情報端末機の貸し出しに対する需要の低下や多種多様な見守り機器の普及を背景に当事業を廃止する。

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	000 地域リハビリテーション活動支援事業					
予算科目	08-030201-16 地域リハビリテーション活動支援事業			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	個人宅や住民主体の通いの場等へリハビリ専門職を派遣し、高齢者の能力を評価して助言、指導を行う。サービス提供事業所等へリハビリ専門職を派遣し、介護予防に関する技術的助言、指導を行う。
概要 (取組内容)	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士などのリハビリテーション専門職を、個人宅やサービス提供事業所、住民主体の通いの場等へ派遣し、介護予防に関する技術的助言を行う。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	359	359	359	352	352	
	決算額	(千円)	173	237	212	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	46	63	114	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	59	80	71	0	0
		その他	(千円)	68	94	27	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,362	1,382	2,193	2,072	2,072	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.20	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	10.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページに掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	訪問回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
	実績	11.0	12.0	34.0	29.0	36.0	32.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市報やケアマネジャー連絡会等で事業の内容を説明し、周知を図った。	
成果	令和5年度より福祉環境コーディネート支援の利用が増加した。 事業について市報掲載をしたことで、家族からの申し込みが増加した。	
課題	業務	事業の対象であるサービス事業所等への介護予防ケア向上支援の活用ができていない。
	組織、予算等	
改善目標	リハビリ専門職が個人に対してのみではなく、サービス事業所等への支援の活用がされるように、事業の周知を図っていく。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	一

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	108 高齢者等買物支援事業					
予算科目	01-030102-26 高齢者等買物支援事業に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約	48			係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	補助金（直接）	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	身近な商店の減少や高齢化、移動の制約等により、日常生活に必要な食料品及び日用品等の買物が困難な状況に置かれた高齢者等に対し、移動販売事業者への補助を行う。
概要 (取組内容)	条件を満たした移動販売事業者に対し補助を行い、市内の移動販売需要に対応することで、買物が困難な高齢者等を支援する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
	決算額	(千円)	4,000	4,000	4,000	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,000	4,000	4,000	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	681	2,909	3,763	3,454	3,454	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.40	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	60.00	60.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	各販売場所の利用者数 ()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	40,000.0	36,000.0	36,000.0
	実績	0.0	0.0	0.0	33,000.0	36,000.0	36,500.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	事業を継続していくため、各地区の要望や利用状況を踏まえ、販売場所の見直しを行った。利用が少ない地区へ集中的に広報を行い、移動スーパーが来ていることを改めて周知した。	
成果	前年度に引き続き、市内延べ151か所（実115か所）で移動販売を行い、ルート見直しの結果、令和7年1月20日から延べ143か所（実113か所）で販売を行った。要望があった販売場所などの追加により利用客数が昨年に比して増加してきている。移動販売事業者を公募し、(株)カスミを選定した。また、令和8年度実施事業者の公募については1事業所の応募であっても選定委員会を開催するよう要綱の改正を行った。	
課題	業務	継続して高齢化率やニーズの高い所での販売ができるよう、場所の選定や変更が必要。
	組織、予算等	買物の機会のほか、高齢者の集いの場や活動の場として利用できるよう、情報発信・共有の方法について検討が必要。
改善目標	各地区の販売の要望に応じ、また事業が継続的に進めるよう、販売場所の見直しを行っていく。移動販売場所における集いの場やボランティア等の活動の機会を提供する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	170 家族介護教室					
予算科目	08-030302-17 家族介護教室に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン				新規・継続	新規	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	介護予防や介護に関する知識や技術について、幅広い年齢層に普及啓発を行う。
概要 (取組内容)	若年層の市民に向け、教室を開催し、介護に関する知識の普及啓発を行う。 小学生教室と介護教室の2つを実施する。小学生教室は、夏休みに小学生が高齢者に対する理解を深める内容で実施する。介護教室は、全9回の講座と1回の講演会を実施する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	195	195	195	
	決算額	(千円)	0	0	117	117	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	26	26	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	68	68	0
		その他	(千円)	0	0	23	23	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	2,665	2,072	2,072	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	200.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページに掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	教室参加者アンケート

指標の推移

1	指標名	家族介護教室参加延人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	156.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	介護教室は、年間を通して教室を開催した。小学生教室は「つくばちびっ子博士」に参加することで、より多くの小学生に周知することができ、参加者の増加につながった。
成果	両教室を通して、幅広い世代に対して介護及び介護予防に関する知識及び技術について普及啓発することができた。アンケート結果から、教室の満足度は高く、教室前後での意識変容も見られた。
課題	幅広い世代に対して普及啓発をするため、事業の周知について検討する必要がある。
改善目標	教室を前半と後半に分け、周知を重点的に行うことで参加者の増加を目指す。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	369 生活支援体制整備事業					
予算科目	08-030301-15 生活支援体制整備に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン	Ⅱ-1	1	1	世代を超えた交流の拠点整備（サロン等）	新規・継続	継続
	Ⅱ-1	1	2	見守りやゴミ出し、買い物支援等の地域の	事業分類	自治事務（義務）
	Ⅱ-1	4	1	在宅医療、訪問看護の整備と適正化、福祉	事業体制	一部委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者をはじめ、住民が担い手として参加する多様な主体によるサービスの提供体制を構築すること、そして互助を基本とした高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進することを目的とする。
概要 (取組内容)	市全域を対象とする「つくば市生活支援体制整備推進会議（第1層協議体）」と、各日常生活圏域を対象とする、地域の多様な主体を中心に支え合いの仕組みづくりを話し合う場である「地域支えあい会議（第2層協議体）」を設置する。協議体と協力しながら地域の様々な活動をつなげ組み合わせる調整役として、「生活支援コーディネーター」の配置を行う。その上で、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていく。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	31,063	29,746	30,317	31,460	31,460	
	決算額	(千円)	28,353	29,532	30,136	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,524	6,792	6,931	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	16,372	17,055	17,403	0	0
		その他	(千円)	5,457	5,685	5,802	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,571	5,029	5,980	5,696	5,696	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.70	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	50.00	80.00	80.00	70.00	70.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページに掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	審議会等（つくば市生活支援体制整備推進会議）

指標の推移

1	指標名	第2層協議体の設置数 (場所)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	実績	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	指標の概要	(Ⅱ-1-①世代や分野を超えた地域の居場所づくりの拡充) (Ⅱ-1-④地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実)					

2	指標名	第1層協議体の開催回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	第1層協議体は令和6年度から新体制で始動し、各第2層協議体から住民が参加し、市内全体に共通する協議や圏域を跨いだ取組についての情報交換を行った。第2層協議体は、2層の生活支援コーディネーターによる住民活動の支援、集いの場づくりの支援を通じ、新たな取組創設につながった。
成果	第1層協議体は、住民主体の会議とするため令和6年度から単独開催し、各圏域の第2層協議体から7名の地域住民が参加した。活発な意見交換を行い、各圏域の取組状況や市内全体に共通する地域課題の協議や情報交換を行った。第2層協議体では、地域によってコアメンバーとも協議をするなど、各圏域の特徴に合わせた地域での新たな集いの場、生活支援の場、情報共有の場の創出を行った。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第1層協議体と各圏域の第2層協議体を連動させながら、より住民主体の取組を支援する必要がある。 ・地域住民や医療・介護の専門職を含めた多様な主体の力を組み合わせたケアマネジメントとの連携を推進することで、高齢者の生活に選択肢が増え、変化が生じるような環境づくりの促進を行う必要がある。
改善目標	第1層協議体が第2層協議体と連動した地域住民主体の話合いの場として機能することを目指して、各第2層協議体と同じ年2回の開催を目標とする。第2層協議体は、住民主体による生活支援体制の整備とその社会資源の活用がされるよう、より、第2層生活支援コーディネーターと連携した事業推進を行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	359 総合相談・支援事業					
予算科目	08-030301-11 包括的支援事業総務に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン	II-1	3	1	地域包括支援センターの市内全域への配置	新規・継続	継続
	II-1	3	2	認知症や医療介護の出前教室や啓発講座の	事業分類	自治事務（義務）
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業体制	一部委託
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	地域の高齢者に必要な相談・支援を行う。
概要 (取組内容)	相談を受け、対象者のニーズに応じた地域における適切なサービス、関係機関および制度等の利用につながる等の支援を行う。直営の地域包括支援センターと市内6ヶ所に委託設置している地域包括支援センターにおいて総合相談業務を実施する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	3,962	4,680	13,239	9,141	9,141	
	決算額	(千円)	3,676	2,813	10,790	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	706	540	2,482	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	2,124	1,626	6,231	0	0
		その他	(千円)	846	647	2,077	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,985	7,167	7,592	7,150	7,150	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.90	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	350.00	107.00	147.00	100.00	100.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページに掲載
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	審議会等（地域包括支援センター運営協議会）

指標の推移

指標名	相談件数（直営）					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	
1						
目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
実績	3,152.0	2,575.0	1,665.0	1,398.0	1,231.0	1,062.0
指標の概要	(II-1-③認知機能低下等の支援策情報発信と相談体制の充実)					

2	指標名	委託包括相談件数（6センター合計）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	11,053.0	17,639.0	22,047.0	15,295.0	15,540.0	15,918.0
	指標の概要						
3	指標名	対応件数（直営）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	3,880.0	2,935.0	2,320.0	2,036.0	1,577.0	1,589.0
	指標の概要						
4	指標名	委託包括対応件数（6センター合計）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	17,182.0	23,110.0	33,010.0	32,365.0	30,035.0	32,439.0
	指標の概要						
5	指標名						
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地域包括支援センター定例会等を通して、他機関や他部署との連携強化を図り、センター職員の相談援助技術の向上に努めた。					
成果	各センターが独自に他機関や他部署と連携した支援を展開することができた。					
課題	業務	8050問題等、複雑多様化かつ高度化した課題を抱える世帯が増えている。それに伴い、更なるセンター職員の相談援助技術の向上を図るとともに、他機関や他部署との連携強化を図る必要がある。				
	組織、予算等	センター内で課題解決の方向性を検討できる組織作りが必要である。				
改善目標	相談件数の増加や複雑多様化、かつ高度化したケースの増加に伴い、センター職員の業務負担・精神的負担感が増加している。そのため、効果的な相談支援が展開できる相談援助技術の習得、関係機関や部署との連携強化を図り、負担軽減に努める必要がある。					

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	363 認知症サポーター養成事業					
予算科目	08-030302-15 認知症サポーター養成事業に要する経			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	認知症総合支援係	
戦略プラン	II-1	3	2	認知症や医療介護の出前教室や啓発講座の	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	職員のみ
個別計画	つくば市高齢者福祉計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市内に在住・在勤・在学の方
目的	認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域の構築を目的とする。
概要 (取組内容)	認知症サポーター養成講座を開催することにより、同サポーターを養成するとともに、認知症相談窓口（各地域包括支援センター）を市民へ周知する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	2,742	2,742	835	802	802	
	決算額	(千円)	1,958	2,873	352	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	453	661	80	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,129	1,659	204	0	0
		その他	(千円)	376	553	68	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,982	7,293	7,661	7,332	7,332	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	70.00	159.00	175.00	175.00	175.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	広報つくば、市のホームページ掲載
企画・立案、計画	認知症サポーターがボランティア活動ができる仕組みの構築
実行	認知症サポーターボランティアの立ち上げ（3月）
評価、検証	認知症地域支援推進員・キャラバン・メイト連絡会会議、サポーターへのアンケート実施

指標の推移

1	指標名	認知症サポーター養成者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	1,000.0
	実績	3,082.0	452.0	478.0	837.0	912.0	997.0
	指標の概要	目標値について：令和6年度はつくば市高齢者福祉計画（9期）の計画値を記入した。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	幅広い世代に向けて認知症サポーター養成講座を実施し、認知症サポーターが学びを深め地域で活動する認知症サポーターボランティアの仕組みを構築できた。チームオレンジとミーティングを実施し、活動課題や認知症関連の情報共有を行った。	
成果	認知症サポーター養成講座は、市民、小中学生、企業等に向けて31回開催し、997名のサポーターを養成した。また、認知症サポーター向け講座（1回）、ステップアップ講座（2回）を実施し、意欲あるサポーターが、地域でボランティアとして活動できる仕組みを構築した。チームオレンジとミーティングを開催し、チームとの意見交換や認知症関連の情報共有を行った。	
課題	業務	認知症サポーター養成講座は、継続して幅広い世代が受講できるよう各圏域のキャラバン・メイト協力のもと講座の開催を行う。認知症サポーターがボランティアとして活動するための講座の充実を図り、活動支援を行っていく必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	継続して、幅広い世代へ講座を実施し、認知症サポーターがボランティア活動で活躍できるよう体制を整備していく。キャラバン・メイトと認知症地域支援推進員会議が連携し活動等ができる体制を構築していく。各チームオレンジへの活動や、新たなチームオレンジの立上げ支援を行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	366 在宅医療・介護連携推進事業					
予算科目	08-030301-12 在宅医療・介護連携推進に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	包括支援係	
戦略プラン	Ⅱ-1	3	2	認知症や医療介護の出前教室や啓発講座の	新規・継続	継続
	Ⅱ-1	4	1	在宅医療、訪問看護の整備と適正化、福祉	事業分類	自治事務（義務）
	Ⅱ-1	4	2	多職種がつながる医療福祉連携体制の整備	事業体制	一部委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護の専門職や関係機関の連携強化を図り、連携を推進する体制を整備する。
概要 (取組内容)	つくば市の在宅医療・介護連携に関する課題に対して、推進協議会で解決に向けた検討を行う。 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進のため、医療と介護の専門職を対象とした意見交換会や研修会の開催、地域住民への普及啓発として、在宅医療や在宅介護についての啓発講座や出前講座を実施する等、住民や地域の医療・介護の専門職と地域の目指すべき姿等を共有し、医療機関と介護事業所等の協働・連携を推進する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	3,963	4,112	1,830	1,606	1,606	
	決算額	(千円)	2,822	3,170	1,309	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	543	608	301	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	1,629	1,832	756	0	0
		その他	(千円)	650	730	252	0	0
人件費	人件費計	(千円)	9,779	14,177	15,184	14,165	14,165	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.40	2.00	2.00	2.00	2.00
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	150.00	295.00	145.00	145.00
		会計年度任用職員有無	(-)	有	有	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページ・広報つくば・区会回覧にて周知
企画・立案、計画	在宅医療・介護連携推進協議会実務部会にて企画・立案
実行	啓発講座（在宅医療講演会）・出前講座の実施
評価、検証	在宅医療・介護連携推進協議会

指標の推移

1	指標名	多職種研修会等の参加者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	800.0	800.0	800.0	800.0	800.0	800.0
	実績	441.0	323.0	970.0	781.0	563.0	95.0
	指標の概要	参加者数について、令和5年度までは他事業で実施した研修会等の参加者数も計上していたが、令和6年度からは在宅医療・介護連携推進事業で実施した研修会等の参加者数のみを計上した。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	医療と介護の専門職の関係性構築に繋がる意見交換会・研修会を開催する他、庁内外の関係者とICT連携ツール導入に向け協議を行う等、切れ目のない在宅医療と介護の連携に向けた体制整備に取り組んだ。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護の専門職を対象に「シームレスな連携に向けた課題」をテーマとした意見交換会を実施し、専門職同士の顔の見える関係性の構築と連携を強化することができた。 ・訪問診療に取り組んでいる医師を講師に招き在宅医療講演会を、地域包括支援センターと連携し圏域毎に出前講座を開催し、多くの市民に在宅医療と在宅介護について周知することができた。 	
課題	業務	ICT連携ツール導入に向けた協議を継続して進める必要がある。
	組織、予算等	ICT連携ツール導入に向けた協議を継続して進める必要がある。
改善目標	引き続き市民への普及啓発活動、専門職の連携強化に向けた体制整備を行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	357 介護支援ボランティア事業					
予算科目	08-030201-14 介護支援ボランティア事業に要する経			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン	II-1	4	1	在宅医療、訪問看護の整備と適正化、福祉ボランティア事業の推進	新規・継続	継続
	II-2	2	2		事業分類	自治事務（任意）
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業体制	一部委託
	介護保険法				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者の介護支援ボランティア活動を通じた地域貢献や社会参加を奨励・支援し、介護予防を推進する。
概要 (取組内容)	市内に住所を有する65歳以上（つくば市第一号被保険者）が、介護支援ボランティア登録を行い、市が指定した介護支援ボランティア受入機関等でボランティア活動を行った場合、活動実績を評価した上でポイントを付与し、当該登録者からの申出によりポイントに応じた交付金を交付する。

コストの推移

項目		令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円) 2,181	2,181	2,127	2,091	2,091	
	決算額	(千円) 1,799	1,825	1,913	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 1,089	488	1,035	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	617	639	0	0
		その他	(千円) 710	720	239	0	0
人件費	人件費計	(千円) 1,424	1,431	1,520	1,431	1,431	
	内訳	正職員従事割合	(人) 0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
		正職員時間外勤務	(時間) 25.00	20.00	30.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページに掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	アンケート調査

指標の推移

指標名	介護支援ボランティア実活動者数 (人)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	71.0	2.0	4.0	5.0	12.0
指標の概要	(II-1-④地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実) (II-2-②誰もががっつき役割を持つる社会参加の環境整備)					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	活動を活性化するために、ボランティアと施設のマッチングの強化を図った。また、ケアマネジャー連絡会で説明を行い、事業の周知を図った。 施設説明会は2月に実施予定だったが、施設側の状況を鑑みて、令和7年度中の開催に変更とした。				
成果	実活動人数は令和5年度と変化はなかったが、ボランティアの延べ活動時間が181時間増えた。 ボランティアの新規登録者6人、新規登録施設も2か所あった。				
課題	<table border="1"> <tr> <td>業務</td> <td>ボランティア登録者は令和6年度末で74人であるが、実活動者が12人、ボランティア交流会の参加人数も延べ15人と少なく、活動実績が上がっていない。ボランティアと施設のマッチング不足が課題としてあげられる。</td> </tr> <tr> <td>組織、予算等</td> <td></td> </tr> </table>	業務	ボランティア登録者は令和6年度末で74人であるが、実活動者が12人、ボランティア交流会の参加人数も延べ15人と少なく、活動実績が上がっていない。ボランティアと施設のマッチング不足が課題としてあげられる。	組織、予算等	
業務	ボランティア登録者は令和6年度末で74人であるが、実活動者が12人、ボランティア交流会の参加人数も延べ15人と少なく、活動実績が上がっていない。ボランティアと施設のマッチング不足が課題としてあげられる。				
組織、予算等					
改善目標	ボランティアの活動意欲を維持できるようにボランティア同士の交流の場を確保する。ボランティアの実活動人数を増やすために、広報やその他の媒体を活用し、事業の周知を図る。また、委託先への後方支援を継続する。				

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	ー

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	367 地域ケア会議推進事業					
予算科目	08-030301-14 地域ケア会議推進に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン	II-1	4	2	多職種がつながる医療福祉連携体制の整備	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画	つくば市高齢者福祉計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	介護保険法				SDGs	03すべての人に健康と福祉を
						04質の高い教育をみんなに
						11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者等が持つ個別の課題について、多職種協働の検討により解決に向けた支援を行う。また、個別事例の検討を通して地域課題を明確化し、その解決のための資源開発や地域づくり、政策形成に繋げる。
概要 (取組内容)	つくば市地域ケア会議並びに圏域別・自立支援型・クイックケア・ピックアップケア会議の4種の個別ケア会議を開催する。つくば市地域ケア会議では、各個別ケア会議から抽出された地域課題について協議し、その課題解決に向けた社会資源の開発や政策提言につなげる。圏域別会議・クイックケア会議では個別事例の解決に向けた検討を行うとともに、多職種間のネットワーク構築を図る。ピックアップケア会議ではクイックケア会議を経ても解決しなかった事例について解決に向けた検討を行う。また自立支援型個別ケア会議では、自立支援・重度化予防の視点に基き専門職を交えて検討する。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	438	826	1,324	1,311	1,311	
	決算額	(千円)	325	452	704	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	70	104	161	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	190	261	407	0	0
	その他	(千円)	65	87	136	0	0	
人件費	人件費計	(千円)	4,331	4,329	5,881	5,684	5,684	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	0.80	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	76.00	40.00	65.00	65.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページに掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	審議会等（つくば市地域ケア会議）

指標の推移

1	指標名	地域ケア会議開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	実績	3.0	3.0	4.0	5.0	4.0	2.0
指標の概要	(II-1-④)地域で安心して暮らし続けるための福祉サービスの充実)						

2	指標名	圏域別ケア会議開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	36.0	36.0	36.0	36.0	24.0	18.0
	実績	33.0	26.0	36.0	36.0	24.0	18.0
	指標の概要						
3	指標名	自立支援型ケア会議開催件数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	12.0	12.0	12.0	12.0	6.0	12.0
	実績	10.0	8.0	11.0	11.0	10.0	12.0
	指標の概要						
4	指標名	ピックアップケア会議 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	3.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地域ケア会議を単独開催し、圏域別ケア会議で抽出された地域課題について多職種が集まり協議を行った。幅広い視点から活発な議論を行い、地域課題に関する理解を広げた。	
成果	<ul style="list-style-type: none"> つくば市地域ケア会議について、圏域別ケア会議から抽出された地域課題に対して、多職種による協議を行った。 個別ケア会議については地域包括支援センターと協働して予定通り会議を開催できた。圏域別ケア会議は1回の会議につき約29名の参加者があり令和5年度より増加した。 	
課題	業務	つくば市地域ケア会議について、課題を具体化し、課題解決に向けた地域づくり、資源開発、政策形成につなげていく必要がある。また、個別ケア会議から抽出された地域課題について検討をする必要がある。
	組織、予算等	地域課題解決に向け、庁内外の多職種多機関での地域課題の共有及び検討が必要となるため、次期議員の構成や選出について検討する必要がある。
改善目標	つくば市地域ケア会議について、令和6年度から引き続き、圏域別ケア会議から抽出された地域課題に対して協議し、課題解決に向けていく。また、令和8年度の地域ケア会議の課題について検討する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続	
理由	—	

令和 6年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	122 傾聴ボランティア事業					
予算科目	08-030201-17 傾聴ボランティア事業に要する経費			担当部課	福祉部地域包括支援課	
市長公約				係名	介護予防係	
戦略プラン	II-2	2	2	ボランティア事業の推進	新規・継続	継続
					事業分類	自治事務（任意）
					事業体制	職員のみ
個別計画				事業期間	毎年度	
根拠法令等	介護保険法			SDGs	03すべての人に健康と福祉を	
					04質の高い教育をみんなに	
					11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	高齢者
目的	高齢者が住み慣れた地域で人と人のつながりが継続できる取組を推進する。
概要 (取組内容)	ひとり暮らし高齢者又は日中独居高齢者の自宅にボランティアが訪問し、高齢者の話を傾聴する。 ・傾聴ボランティア養成講座を開催し、ボランティアの育成を行う。 ・利用者及びボランティアの登録をし、マッチングを行い、ボランティアを利用者宅へ派遣する。 ・利用者宅へ訪問した結果によりフォローアップを行い、必要時には専門機関へつなげる。

コストの推移

項目			令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
事業費	予算額	(千円)	0	2,763	3,491	3,577	3,577	
	決算額	(千円)	0	2,022	2,878	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	695	1,556	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	612	962	0	0
		その他	(千円)	0	715	360	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	2,836	3,688	3,515	3,515	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.40	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	30.00	30.00	25.00	25.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	市ホームページに掲載
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	利用者アンケート、ボランティアアンケート

指標の推移

1	指標名	傾聴ボランティア実活動者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	30.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	18.0	33.0
	指標の概要						

2	指標名	傾聴ボランティア事業延べ利用者数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	150.0	100.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	146.0	286.0
	指標の概要	令和6年度から、目標値を第9期高齢者福祉計画の指標に合わせる。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	高齢者台帳訪問の際に、民生委員へチラシ配布を依頼し、広く周知を行った。	
成果	事業について、ケアマネジャー定例会や市報での周知を行った。傾聴ボランティア実活動者数、延利用者数ともに増加傾向にある。利用者アンケートでは、事業に対して満足しているという回答が多く、ボランティアの来訪を心待ちにしているという結果が得られ、介護予防のための効果的な支援につなげることができた。	
課題	業務	利用者拡大を目指し、ケアマネジャー連絡会や研修会、民生委員へ事業周知を行う。また、利用者人数とボランティアの稼働率を考慮し、養成講座開催について検討を行う必要がある。
	組織、予算等	
改善目標	利用者増加に向け、利用申込者に委託地域包括支援センターを追加する。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	